



基本理念と基本方針

理事長 村尾 文規

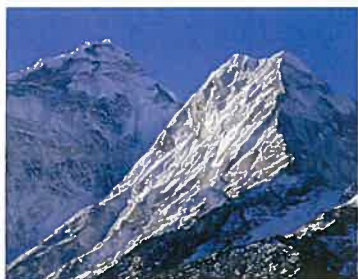


山登りをするとき、事前に、服装、携帯するもの、登山ルートなどを検討し、どのように活動するかその方針を決定する。登頂を目標とすると、そのための活動方針が基本方針である。私たちは、『仁愛の精神をもって心の通う医療の実践』という基本理念を掲げている。

当院の存在理由を示すものである。登山に例えると、エベレストの山頂を極める以上に困難な道程であろう。

一方、人は独りでは生きていけない以上、働くことによって、また、何らかの活動を通じて世の人のために寄与することは生きていくうえで根源的な課題である。生きるという目的を追求していく過程で、如何に行動し、どのように活動するか、そのことが各自の基本方針なのである。したがって、日常の業務の遂行は、公用、私用、不可分と言って過言ではない。如何に与えられた仕事に念を入れる必要があるかが理解できるはずである。

私たちの掲げる崇高な理念は、当院の未来像を示しており、働くことの究極の方向性を示している。目標は活動のゴールである。従って、基本方針は、その達成度を評価し、より多くの人に精通するような具体的な活動方針を示す必要がある。このたび、倫理委員会で何度となく話し合いをもち、活動方針の素案を示し、



賛同を得た。新しい基本方針は、一言でいえば、職員の間関係の一層の改善を図ることに軸足を置いたものになっている。尊敬し合える人間関係が構築できれば介護、看護の質は、さらに高みにのぼるはずである。ふたたび、強調しておきたいのであるが、日々従事している業務そのものが、当院の存在を世に問うものであるとともに、私たちが、より良く生きることと深く結びついているということである。極論を恐れずに言うと、新しい基本方針は、お互いに尊敬し合える関係を築くために、まずは、互いの労働に感謝の言葉を発することを主張している。

基本理念

わたくしたちは、すべての人に等しく

仁愛の精神をもって接し、

心の通う医療の実践に努めます。

基本方針

患者様の満足:常に患者様の立場に立って行動します。

職員の満足:働きやすく、やりがいのある職場づくりに努めます。

地域の満足:医療サービスを通じて地域の方々に喜ばれるよう努めます。

お花見会開催

「散る桜 残る桜も 散る桜」これは曹洞宗の僧侶、良寛の辞世の句として知られ、人の命を桜の咲き散りに喩えた句です。日本には古くから桜を詠んだ詩歌が数多くあり、日本人にとっては親しみ深い花の一つです。

さて、当院においても、敷地内に咲く満開の桜の下、一大行事であるお花見会を開催いたしました。ご家族やボランティアなど多くの方々にご来院いただき、栄養課が力を注いだお花見弁当を囲み、団欒のひと時を過ごしました。

今年は、初めての試みとして、日々、患者さまのレクリエーションとして実施している健康体操を参加者全員で行いました。これは、地域の皆さまに、病院内での取り組みを少しでも知っていただきたいとの思いで企画いたしました。

また、ボランティアとして参加いただいた古川由紀様にはアコーディオンの演奏を披露していただき、懐かしい唱歌を皆で合唱しました。

ひらひらと舞う花びらの先に見える穏やかな笑顔を眺めながら、耳に響くその歌声に、郷愁の念を抱かざるを得ませんでした。

桜花のように限りある時間のなかで、今日の日のようにかけがえのないひと時をご提供できるよう、これからも庄原同仁病院スタッフ一同力を合わせて取り組んで参ります。 【平成26年4月8日】



お花見弁当



参加いただいたご家族の声

「晴天に恵まれ、楽しみにしていた花見が行われてよかった」
「刺身がいい」、「山菜がおいしかった」
「来年が楽しみじゃね」
などなど、たくさんのご感想を頂き、患者さま、ご家族共に喜ばれていました。

ミニ花展

昨年のお花見会で初めて開催いたしましたところ、とても喜んでいただきました。翌日も見に来て下さる患者さまもありません。今年も、竹島豊信先生の指導の元、楽しく頑張っています。

小原流いけばな同好会



病棟の紹介



庄原同仁病院は、庄原市街地から北に約4km（車で約7分）、川北町の旧北中学校跡地の高台に位置しております。春には周囲を桜の花に囲まれ、北に中国山地の山々、南には庄原の市街地が望めます。

当院は、長期にわたり療養を必要とされる慢性期の患者さま（急性期での治療を終えられた方）を対象とする病院で、1病棟・介護療養病床40床/医療療養病床4床、2病棟・医療療養病床60床を備えております。今回は、介護・医療各病棟での各部門の取り組みを紹介させていただきます。

1 病棟

伊達 信介

1病棟では入院時、患者さまご本人、ご家族の方より入院後の生活についてのご要望、ご意向をお聞きし、病棟の看護職員、介護職員が共働して、ご希望に沿った療養生活を送っていただけるように毎日、努めています。療養型の病院ということもあり、どちらかという所要介護度の高い重度の患者さまが多くなか、私たちは日ごろから患者さまとの挨拶をはじめとした会話することを心がけています。毎日接する患者さまが少しでも柔らかい表情を出していただければ、私たちも嬉しいですし、やりがいもあるというものです。

そのためにも、スタッフ一人ひとりが今以上のより良いケアを提供できるように、専門的に排泄・摂食えん下・認知症予防・身体拘束防止・記録・基準手順・教育研修などの委員会を立ち上げ、看護部での定期的な研修、発表の機会を持ち、一人ひとりの知識・技術のレベルアップを目指しています。結果として患者さまの笑顔がみられるようなケアが提供できることを目標として励んでいきます。1病棟ご利用の患者さま44人中、100歳以上のご高齢の方が4人居られる（平成26年3月現在）ことも1病棟内での仕事をする発奮の糧となっています。

患者さま、ご家族の方々が毎日の日々を同仁病院で過ごして良かった、楽しかった、と感じていただけるように私たちも努力していきます。



2 病棟

福岡 幸子

2病棟では、日々いろいろなケアをしていますが、今回は食事・清潔のケアについて紹介します。患者さまの食事は、その方に合った食事を栄養課と相談しています。

食事介助は、自分で食事できる方には、食べられるところまで頑張ってもらい、その後は私たちが声かけをしながら介助し、食事の楽しみを味わってもらっています。



尚、お誕生日には、お昼に患者さまの希望を取り入れたメニューで祝膳を用意し、みんなで祝いしています。

入浴も患者さまは楽しみにされています。週2回以上入浴してもらっています。「良かったよ、気持ちいい」と声を聞くとうれしいです。経口摂取される患者さまはもちろん、胃ろう造設栄養チューブを挿入された患者さまにも口腔ケアを実施して清潔を保っています。

患者さまにいつも明るく声かけをし、笑顔で過ごしてもらえるように心がけています。



温冷配膳車が新しくなりました

栄養課で調理したお食事を衛生的に患者さまの元へお届けするのが配膳車です。温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままでお召し上がりいただくため、当院では以前から温冷機能の付いた配膳車を使用しています。これは、トレイを入れる空間が2つに分かれており、片側をそれぞれ温蔵室、冷蔵室として使うことができます。

今回導入した温冷配膳車は、表面がアクリルコーティングされており、傷や汚れが付きにくく衛生面が向上しました。また、操作も軽く、院内移動の安全面にも配慮されています。

さらには、温冷配膳車に合わせて、トレイや食器も全て新しいものに変更しました。トレイは仕切りをなくした平らなものを採用したことで、食器の配置が自由にでき、患者さまが食べられる際に、器が仕切りにぶつかることがなく、快適にお食事をしていただけます。食器の種類も増やし、献立に合った器を選びやすくなり、見た目にも綺麗に配膳することができるようになりました。

長い療養生活を送られる患者さまが、これまで以上に楽しんでお食事をしていただければと考えています。



～幽ちゃんの旅日記～

看護部 山吉広尚

4月7日、千光寺公園へ行ってきました。桜名所百選に選ばれており、園内に尾道市立美術館、約1kmの散策道(文学のこみち)があります。展望台からは尾道市内が一望できると共に瀬戸内海の島々が望めます。文学のこみちの途中では、映画・CMの撮影地があったりします。4月上旬が見頃なので是非行って見て下さい。



尾道ロープウェイからの眺め

職員紹介 (平成24年度入職)

みんな、これからが期待できるスタッフです。ただ今、当院では、高齢者と関わるのが好きな、仕事に意欲的な看護職員・介護職員を募集中です。

事務長 西村 美智子



前川奈美恵
(看護部)



福光登紀子
(看護部)



伊達信介
(看護部)



藤井省二
(栄養課)



山野友和
(管理部)

編集後記

毎年恒例の患者さま、ご家族のお花見会も満開の桜のもとで開催することが出来ました。巻頭にありますように、当院の基本理念は、患者さまはもとよりご家族、地域の方々、病院の運営に関わる関係先の方、当院で働く職員など、すべての人に平等に思いやりの心を持って接し、心の通いあった医療の実現を目指しています。その実現のため、昨年度、当院の倫理委員会の委員が中心になり、基本方針・行動指針を見直しました。職員ひとりひとりが理解しやすく、実践できる方針となるように各委員が意見を交わし作成しました。基本理念の実現のため職員一同努力していきますので、これからもよろしくお願いたします。 末藤